

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2015年9月定例会議事録

- ◎ 開催期日：2015年9月17日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	岩本	真司
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆KD JAPAN	関西潜水連盟	松村	卓也
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	JRDA	有原	義則
	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨
		渡辺	守
	DANジャパン	小島	朗子
	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

- ① SAFE DIVE JAPAN SEAKER 1紹介(ダイバー捜索用合法送信機)
 - SAFE DIVE JAPAN飯野氏から、SEAKER 1について商品説明があった。
 - SEAKER 1は、ダイバーの位置情報をGPSで測定して船舶に知らせる通信機器であり、ダイバーの遭難時にその効力を発揮するとの説明があった。
 - また、過去の同様機器は国内においては電波法に抵触し、国内使用不可であったのに対し、SEAKER 1は合法であることが強調された。
- ② C協HPに、「ダイビングの始め方」、「インストラクターになる方法」、「ショップの立ち上げ方」のページを新設する件
 - 前回C協定例会においてJRDA有原氏より依頼があった、C協HPに「ダイビングの始め方」、「インストラクターになる方法」、「ショップの立ち上げ方」のページを新設するにあたり、事務局より同HPの素案が提案された。
 - 出席者は、同素案を持ち帰り、次回のC協定例会において意見をまとめることが決められた。
- ③ ガイド付きFUNダイブの顧客受け入れ条件について
 - 前回C協定例会においてNAUI和泉氏より提案された「ガイド付きダイビングの明確化」について、事務局より「ガイドダイバーの役割り」、及び「ダイバーの心得」を明文化し素案が提案された。
 - 出席者は、同素案を持ち帰り、次回のC協定例会において意見をまとめることが決められた。

以上